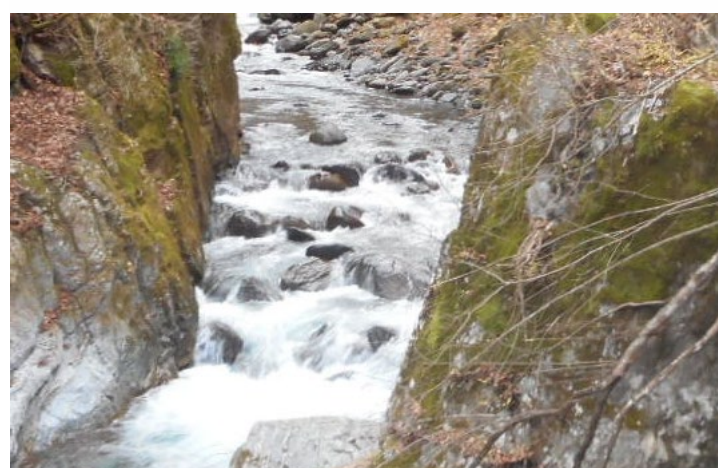
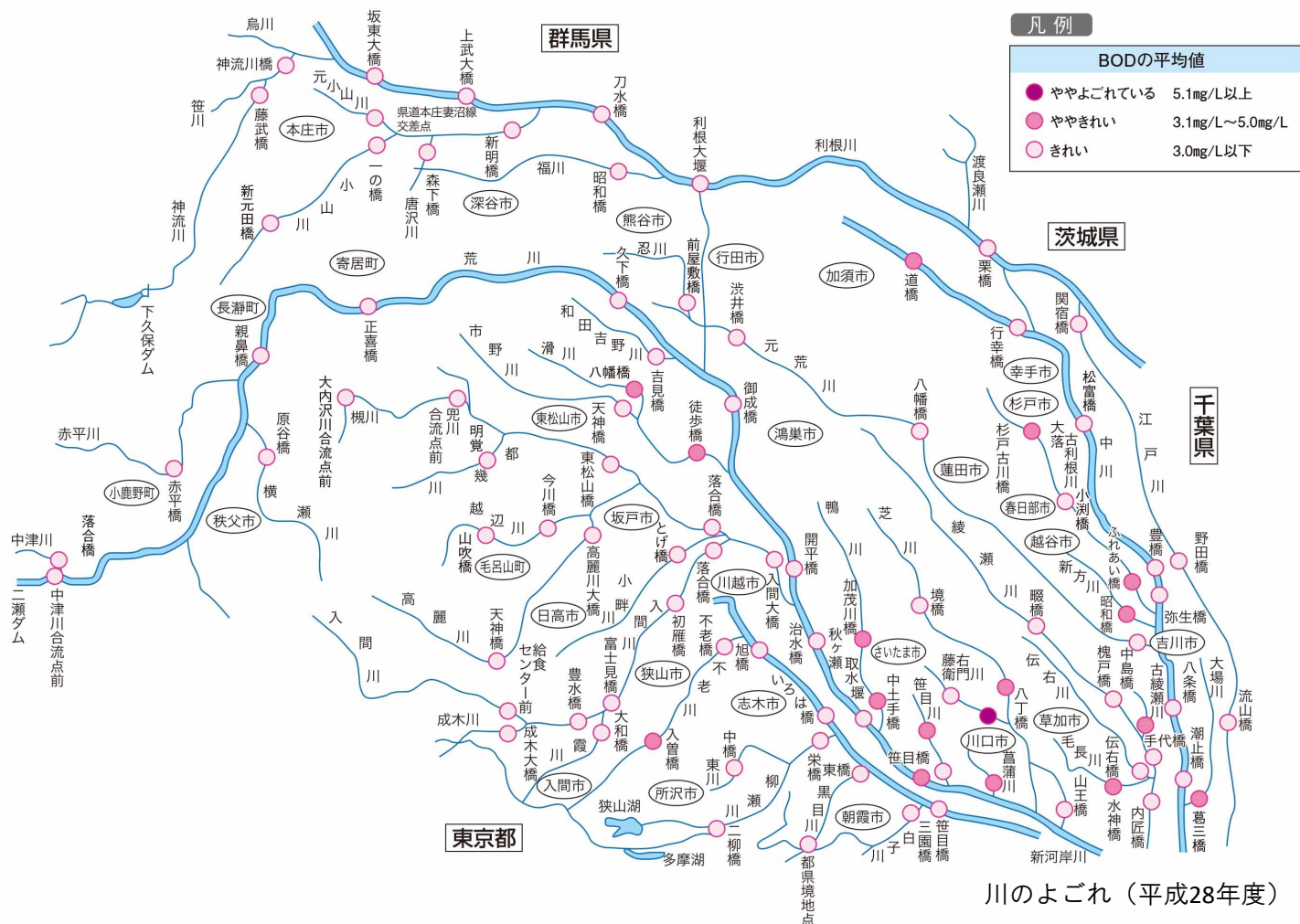
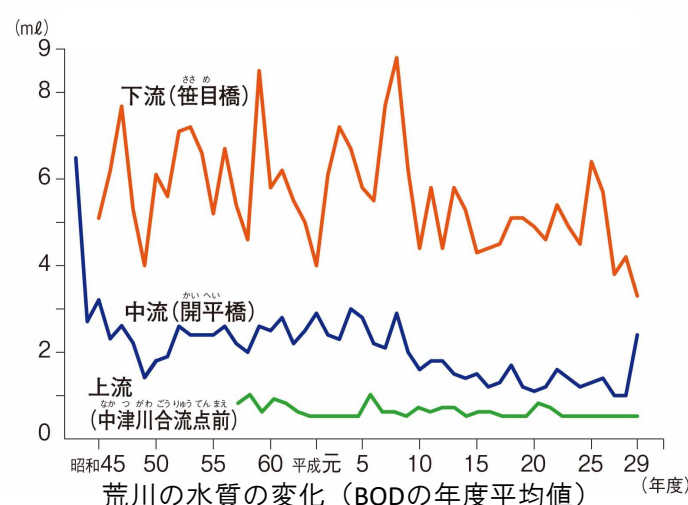


荒川の水質

浄化導水事業や地域住民の清掃活動など様々な取り組みにより、
きれいな川を取り戻しつつあります。



きれいな上流の様子



きれいに becoming 荒川の水

昭和30年代後半から、流域の開発が進み、人口が増えたり、生活が豊かになったりして水を使う量が増えたため、荒川への排水の量も増え、川の水はだんだん汚れてきました。

現在は、工場などの排水を取り締まる法律が制定されたり、家庭からの排水をきれいにする下水道の整備が進んだことで、きれいな水に戻りつつあります。

現在、荒川の本川は、ほとんどの地点で環境基準を達成しています。下流の笹目橋では比較的BOD値が高くなっていますが、ここ数年は環境基準値 (5.0mg / 1) を達成しています。

浄化導水事業

綾瀬川・芝川流域では1995（平成7）年から、菖蒲川・笹目川流域では2002（平成14）年から、国や自治体、住民が一体となり「清流ルネッサンス」による水質改善の取り組みを開始しました。

その取り組みの中で、導水することによって流量を確保しない限り、水環境の改善を図る手段がなかったことから導水事業に着手しました。

【菖蒲川・笹目川等浄化導水事業】

菖蒲川・笹目川等の水質改善と水量の回復を目的として、荒川の水を浄化導水とするものです。導水管延長約4.8km、最大導水量は1.4m³/sになります。

【綾瀬川・芝川等浄化導水事業】

水質改善及び水量の確保を図るため、荒川の水を綾瀬川、伝右川、毛長川、芝川の4つの河川に導水するものです。導水管延長約16km、最大導水量は4つの河川で合計3m³/sになります。



菖蒲川・笹目川等浄化導水事業



綾瀬川・芝川等浄化導水事業

地域住民のとりくみ

【荒川クリーンエイド】

1994（平成6）年から、荒川下流河川事務所管内（荒川）にて地域住民、NPO、行政などと協力し、ゴミ拾いを通じて環境保全意識の向上を目指した活動を進めています。

【荒川クリーン協議会】

1994（平成6）年から、荒川上流河川事務所管内（荒川、入間川、小畔川、越辺川、高麗川、都幾川）にて、行政を主体として一般市民の協力を得つつ、河川敷の清掃及びゴミの不法投棄防止の啓発活動を実施し、河川環境の保全を図る活動を進めています。



荒川クリーン協議会による
ゴミ拾い

魚の種類で水質を評価

川にいる魚には、水のきれいなところにしか生息できないものや汚れたところを好んで生息するものがあります。そこで、どんな魚が生息しているかを調べることによって、その場所の水質がわかります。

調査は、実際に水中メガネで泳いでいる魚を見たり網で魚をすくってみたりするほか、釣りをしている人などにどんな魚が釣れるかを聞いてみたりして行います。

非常によい環境	よい環境	ややよい環境	注意を要する環境
(その他) イwana、トゲウオ類、カジカ類	(その他) ホトケドジョウ、カマツカ、カウムツ、スナヤツメ、タナゴ類	(その他) シマドジョウ、アブラハヤ、ナマス、タモロコ、メダカ	(その他) カダヤシ、ドジョウ

淡水魚類別にみた自然度指数

アクセス

笹目川排水機場

平常時は、笹目川・菖蒲川へ荒川の水を導水して浄化しています。また、洪水時は笹目川の水をポンプでくみ上げて荒川へ排水しています。

交通：都営三田線「西高島平駅」下車、徒歩約24分、

JR埼京線「戸田公園駅」下車、南西循環バス「笹目川排水機場」下車、徒歩約3分

住所：埼玉県戸田市早瀬1丁目4-1



笹目川排水機場